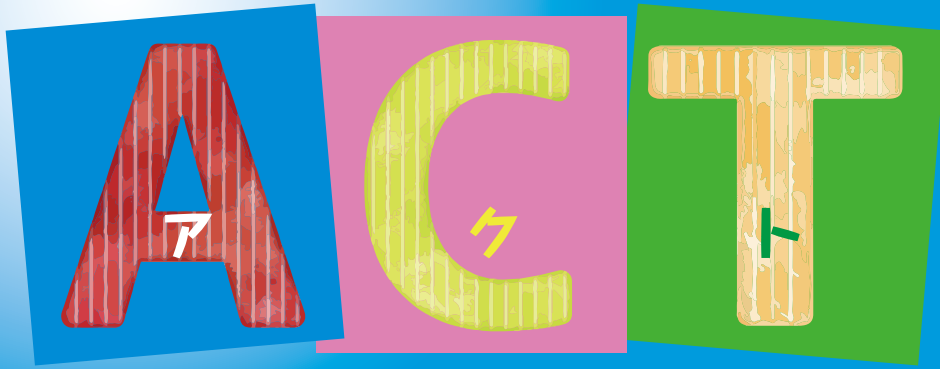




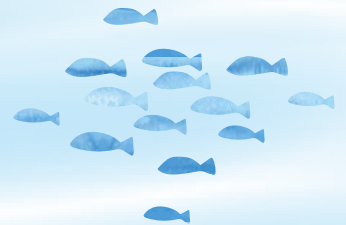
通信

会員数 5,519 人 共済契約数 1,643 件 ACT つながるケア時間数・金額 2,650 時間 6,669,740 円 (5月末)

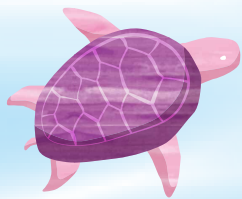
特集 2-4p

第23回 **総会特集**

誰もが最期まで
安心して暮らし続けられる
地域づくりを進めるため、
活かそう！つなげよう！
みんなの力



総会に出席された
理事の皆さん



5p みんなのアビリティ共済！「ここがすごい！アビリティ共済」

6p 杉並区と府中市でまちの縁がわスタート！

杉並に2つめの縁がわ誕生！／地域に暮らす人たちが、誰でもいつでも気軽に行ける常設の居場所

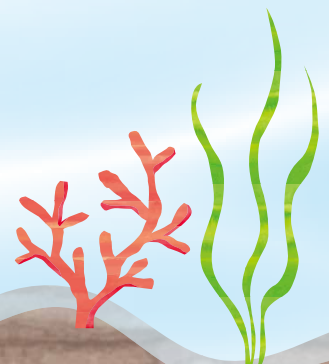
7p 政策提案委員会より「介護認定はブラックボックス？」服部万里子さん学習会
社会保障を考える「社会保障の課題と問題点を探る」

8p ACTコミュニティ活動応援基金 緊急特別支援ご寄付の御礼／理事紹介／3人でGo!!



ACT 事務所が移転しました (7月3日より)

〒164-0012 東京都中野区本町2-51-10 OKビル4階
(電話番号、FAX 番号、メールアドレス等は変わりません)





第23回 ACT総会のご報告

2021年5月29日(土)

14:00～15:41

於：武蔵野スイングホール



今回は議案書がお手元に届いてから議決提出の受付締切日までの期間が、著しく短かったことをお詫び申し上げます。

今後はしっかり議案書に目を通され賛否の表明をいただけるよう、十分な日程が取れるべく送付の準備を進めます。



新型コロナウイルスにより3度目の緊急事態宣言がさらに延長され、感染拡大の防止を考慮し、総会は書面表決・Web表決・委任状をもって行なわれました。5,572人の会員総数に対し、書面・Web・委任状の表決者473人、当日出席者による採決8人で総会は成立し、全議案賛成多数で承認可決されました。

● 議長：古林和佳子（武蔵野市在住）

● 議事録署名人：西本洋美（武蔵野市在住）・豊泉悠子

第1号議案 「2020年度活動・事業報告・決算・監査報告」 賛成 477 反対 4

第2号議案 「2021年度活動・事業方針および事業計画・予算の決定」 賛成 470 反対 8 棄権 3

第3号議案 「2021年度借入金最高限度額の決定」 賛成 478 反対 0 棄権 3

第4号議案 「役員選出」 第5号議案 「議案決議効力発生」 賛成 481 反対 0



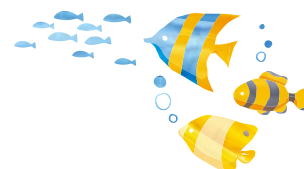
2020年度のふりかえり（事業報告）



2020年度は、地域ACTづくりに力を注ぎました。

新たに、国分寺・町田・武蔵野・世田谷が準備会から地域ACTを設立しました。

準備会は江戸川が新たに加わりました。



ACT つながるケア (自立援助サービス)	コロナ禍の中、感染予防対策強化を図ることに努めましたが、利用時間が伸び悩みました。2018年10月に改定されたACTつながるケアの検証を行い、課題整理・対策の検討に取り組みしました。
アビリティ共済	コロナ禍による活動自粛等の影響もあり、新規契約は34件にとどまりました。通信販売という直接事務局に申し込める手法として、加入申込書付き大型パンフレットをACT通信に同封しました。 また、一般会員への共済募集人の資格取得を呼びかけ、アビリティ共済の加入推進活動の担い手を増やすことを試みました。
ワーカーズ まちの縁がわの設立	町田「さくらさくら」 杉並「すてっぶ&すきっぷ」 府中「テラツツア」が誕生しました。
コミュニティ活動 応援基金助成	居場所づくり部門はコンチェルティーノ「代田みんなのリビング」、ワーカーズまちの縁がわ部門は、「さくらさくら」「すてっぶ&すきっぷ」「テラツツア」と家賃補助を助成しました。
コロナ禍における 新たな試み	オンラインによる会議運営、子育て世代の親と支援者に向けたオンライン公開講座を開催し、動画を導入したケア者ベーシック講座「調理編」も試みました。ACTをわかりやすく紹介するプロモーションDVDを作成し活用しました。
新型コロナウイルス 感染拡大に伴う支援	生活クラブ生協・東京の「生活クラブ運動グループ事業継続支援」により、公的助成金のないたすけあいワーカーズとまちの縁がわが助成支援を受けました。

コミュニティ活動応援基金の寄付「ワーカーズまちの縁がわ緊急特別支援カンパ」は例年の7倍の884,000円(167件)が集まり、まちの縁がわの家賃補助として支援することができました。



2021年度活動方針



誰もが最期まで安心して暮らし続けられる
地域づくりを進めるため、
活かそう！ つなげよう！ みんなの力

仲間を増やす活動

たすけあいワーカーズのケア利用や、ワーカーズで働くための加入だけでなく、ACTのまちづくり活動に共感する新しい仲間を増やします。若い世代が関心あるテーマでいきいきサークルをつくったり、生活クラブデポーでのACTの紹介、会員の関心が高い内容の企画を開催します。丁寧な説明からACTのまちづくり活動に共感する新しい仲間を増やします。

アビリティ共済

アビリティ共済は、ケガや病気の備えとしてだけでなく、ACTのまちづくり活動の原資としての役割があります。共済の加入保有数を増やすことはACTの活動にとっては最重要課題です。昨年に引き続き、直接申し込みできる大型パンフレットをACT通信に同封します。

地域ACTづくりの推進

地域ACTは自治体単位での組織です。創立された地域に加え準備会を含め20自治体を目指します。ACT会員一人ひとりが主体的に参加し、地域で暮らす多世代の人たちへ顔の見えるつながりをつくっていきます。



新規事業

会員ニーズに応えるため、たすけあいワーカーズの新しい地域でもケアが利用できる新しい事業を展開します。会員の持っている力を活かし、会員同士のたすけあいを行ないます。ACT運動グループとして、東京ワーカーズ・コレクティブと共に生活クラブ東京に働きかけ、人材の発掘や育成のための研修や講座などを連携して企画し人材確保を図ります。

第5次中期計画の策定

2022年～2024年までの3年間の計画策定です。赤ちゃんから高齢者、さらに最期の時まで自分らしくを応援するACTとして成年後見事業、新規事業、地域ACTの活動資金計画の検討を行います。今後ACTを継続していくために事業計画や組織運営について経営の改善を図ります。

ACT運動グループだれでも共同の家

「住まいに困っている人と共に暮らせる家」「ハンディがあっても地域の中で共に住み続けられる家」「個々の暮らしや思いを大切にする上質な家」の3グループに分かれ実現化を進めます。

ワーカーズ・コレクティブ運動の推進

たすけあいワーカーズ、まちの縁がわワーカーズ、人とまちづくりがすすめる、「ワーカーズ・コレクティブ」なもう一つの働き方をACT運動グループとともに、社会にひろげます。

2021年度 役員紹介 (2021年5月29日総会選出 50音順)

理 事

氏 名	住 所	所 属
相川 名美	青梅市	ACT事務局
伊藤 裕重	練馬区	たすけあいワーカーズ「エプロン」
海老沢 節子	西東京市	ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合
角 能	島根県浜田市	島根県立大学地域政策学部
菊地 成子	町田市	ACT会員
小寺 浩子	小平市	生活クラブ生活協同組合・東京
小林 幸治	武蔵村山市	認定NPO法人まちぼっと
佐藤 英子	西東京市	NPO法人ACT・人とまちづくり
杉浦 尚子	江戸川区	たすけあいワーカーズ「もも」
武内 好恵	多摩市	東京・生活者ネットワーク
常松 恵子	小金井市	たすけあいワーカーズ「ほっとわあく」

氏 名	住 所	所 属
鶴島 佳子	江戸川区	ACT会員
豊泉 惣子	杉並区	たすけあいワーカーズ「さざんか」
樋口 蓉子	杉並区	ACT 会員
平野 弘美	小平市	たすけあいワーカーズ「らいふえいど」
山木 きょう子	世田谷区	ACT会員

監 事

氏 名	住 所	所 属
細谷 正子	練馬区	ACT会員
矢崎 芽生	新宿区	公認会計士



会員からのご質問より

Q しばらく「ACTつながるケア」を利用していないのですが、いつ申し込んでもすぐ利用できるのでしょうか？

A はい。まずはお住まいの地域にあるたすけあいワーカーズに直接ご連絡いただき、「ACT 会員です」とお伝えください。ご希望の内容をお聞きし手配いたします。

Q 地域 ACT の活動助成は今後どのように運営していくのでしょうか？

A 現在は、アビリティ共済配当金の寄付の一部を積み立てた「地域 ACT まちづくり基金」を地域 ACT の活動費として資金循環しています。今後の活動費については、今年度行なう第5次中期計画プロジェクトで検討します。

Q 共済以外の事業展開についてはどう考えていますか？

Q 法定退会についてその事由の内訳を教えてください。

A 継続して2年以上年会費を滞納19人、継続して2年以上住所等不明で連絡が取れない22人です。

A 事業の採算性が取れることが大切と考えています。事業内容の有益性と、事業性を判断し、中期計画策定討議で他の事業展開についても討議していきます。「最期まで自分らしく」を応援する ACT のもう一つの自立支援活動として成年後見事業を進めていくための事業計画をつくり取り組んでいきます。

ご意見・期待とエール

共済の保険料をこれ以上高くしないでください。

共済募集人の活動について保障を考えてください。

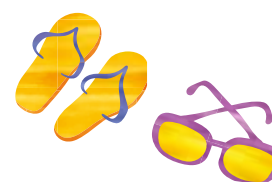
オンライン活用で講座や研修などが行なわれることを希望します。

生活クラブ運動グループとのつながりを深め、互いに支えあっていけるよう望みます。

たすけあいワーカーズのない市に住んでいます。東京都内どこに住んでもサポートを受けられる新規事業は嬉しいです。

介護について、自身や家族の最期の迎え方などについて会員無料の講座などに期待しています。

ほっとサービスを実施している縁がわが少ない。会員歴が長い人ほど必要なサービスだと思います。



みんなの アビリティ共済！ ： その7 ：

「ここがすごい！ アビリティ共済」

アビリティ共済は、ACT 会員のための「たすけあいのしくみ」です。元気な時は他の誰かのために、ケガや病気でたいへんな時はあなたのために役立つ、お金による支え合いです。

アビリティ共済の特徴は？

会員の意見を聞きながら、より使いやすい共済を作ることができます。これまで6回の制度改定を実施しました。

どの保障プランにも「ワーカーズ・ケア保険金」がついています。病気やケガのあと、日常生活を取り戻すための家事援助などのサポート「ACT つながるケア」を地域のたすけあいワーカーズに依頼すると、その費用が受け取れます（上限20万円）。

寄付していただいた配当金の一部を、会員による地域のコミュニティ活動を応援するために役立てています。（Q & A をご参照ください）



Q&A

配当金への疑問にお答えします。

なぜ配当金が加入者に 戻らないのですか？

ACT は NPO 法人なので、「特定非営利活動促進法」の趣旨に基づき利益を会員に分配することができません。そこで、保険契約者の同意に基づき、剰余金を「主たる本来事業会計」に寄付することで、会員活動に活用されています。



寄付した配当金は具体的には 何に使われていますか？

会員のつどい、地域のつどい、いきいきサークルへの予算補助や地域 ACT の活動費などに使われます。



杉並 ACT のお茶会

こちらで共済委員会で作成した共済説明スライド「ここがすごい！アビリティ共済」が見られます。



杉並区と府中市でまちの縁がわスタート！



杉並に2つめの縁がわ誕生！

杉並にもう一つまちの縁がわがあると良いね、という願いが実現しました！

3月に「杉並・ワーカーズまちの縁がわ上井草」として設立総会を行ない、4月に「ほっとスペースすてっぷ&すきっぷ」がオープン！杉並ACTの支援を受け、生活クラブ運動グループに呼びかけてメンバーを募り、現在7名の運営委員を中心に活動しています。

10年間活動してきた団体の活動を引き継いでのスタートです。最初から21件のほっとサービスを実施することができました。居場所としてのサロンは、残念ながらコロナ禍で参加者は少ないですが、



「街かどサロン」みんなで折り紙を楽しみました

手芸、街かどサロン、麻雀、親子ひろばなどを開いています。

“地域の人がつながってお互いにささえあい、誰もが安心して暮らし続けられるように・・・”

そんな想いを込めて地域の方々と一緒に活動していきたいと思います。

杉並・ワーカーズまちの縁がわ上井草
代表 樋口蓉子



設立総会。思いを引き継ぎスタート



地域に暮らす人たちが、誰でもいつでも気軽に行ける常設の居場所

まちのほっとスペース「テラツア」が5月15日にオープンしました。オープニングイベントには、緊急事態宣言中にもかかわらず生活クラブ運動グループや地域の方々がお越しくださいました。

テラツアはメンバーが漆喰の壁を塗り、手作り小物を展示販売し、サポーター会員が店頭の花壇を作り上げ、テーブルはリユース品を使って、素朴な温かい雰囲気の居場所になりました。

地域の方がランチに來られたり、キッズスペースでは赤ちゃん連れで時間を過ごしたり、レンタルスペースでは趣味の集まりや、折り紙サロン、ACTいきいきサークルも始まりました。

長引くコロナの影響で落ち着かない日々が続きますが、こんな時だからこそ地域の中で人と会うこと、ほっとひと息つく場所、が求められていることを感じます。

府中・ワーカーズまちの縁がわテラツア
代表 泉 千鶴子



上・5月のオープニング。笑顔が素敵！スタッフの皆さん左・お店にびったり！たすけあいワーカーズから譲り受けたテーブル

政策提案委員会 より

「介護認定はブラックボックス？」

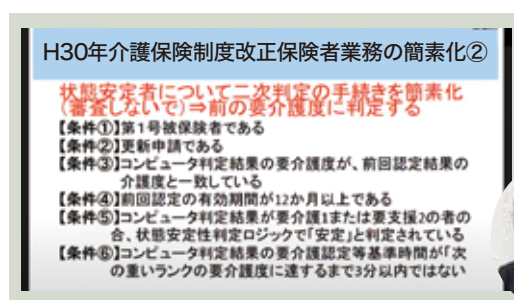
服部万里子さん学習会(6月21日オンライン開催)

2月の学習会の第2弾!これまでも課題や疑問の声が多く上がっていた介護認定について、介護認定審査委員の服部万里子さんに伺いました。

要介護認定はまず調査員による74項目の訪問調査をもとに、コンピューターで一次判定を行ないます。調査内容は身体・認知・生活機能や精神・行動障がいなどの項目が挙げられ、調査員は勘案することなく聞きとった内容を正確に記載していきます。その上で介護の手間、頻度など特別なことは特記事項に記載されますが、認定調査を受ける方が具体的に正確に伝えることが要求されます。しかし認定審査の対象者は半数以上が85歳以上の老々世帯や単身世帯です。ご本人やご家族が、介護の手間や頻度などを正確に把握し伝えることは難しく、要介護認定が実態と異なる場合が多々あります。

次に二次判定の認定審査会で要介護認定が決定しますが、認定審査会では一次判定の基本調査と一致すれば、特に医師の意見書記載や訪問調査の特記は勘案しないことになっています。

調査方法について大いに課題を感じました。調査方法の見直しなど今後の政策提案に活かしていきたいと思います。



服部メディカル研究所所長
服部万里子氏

連載 コラム

社会保障を考える(1)

社会保障の課題と問題点を探る

かど よく
角 能

ACT理事

島根県立大学

地域政策学部地域政策学科

地域公共コース准教授

ACT通信コラムの執筆を担当させていただきます理事の角です。今年度は社会保障について考えてみたいと思います。

初回は社会保障を見聞きしたとき、どこに注目するとよりわかりやすくなるのかです。社会保障は年々複雑さを増してきており、それゆえのわかりづらさ、情報の洪水に翻弄される事態から社会保障に対する不信感が増しているという悪循環に陥っています。

ここで大事なものは、今ある

制度のどこが利点で、どこが問題なのかを理解することです。ではそのためにどこに注目すればよいのでしょうか。

1つ目は、誰が財源である税や社会保険料を払い、誰がサービス(労働)を提供するのか、誰が社会保障のお金を受け取るのかです。

2つ目は、その制度によって、人々の間の自由・平等・つながりが確保されているか、されていないとすればどのような点でなのかです。

以上により、求められる制

度とそれを進めるにあたっての課題の多くが発見できると思います。





ACTコミュニティ活動応援基金 緊急特別支援ご寄付の御礼

ACT 会員の皆さま、まちの縁がわへの緊急特別支援のご寄付ありがとうございます！

昨年のコロナ感染緊急事態宣言により、各まちの縁がわ団体もやむなく営業を中止することになりました。国からの緊急支援金対象にもならず家賃等の管理費が発生する中で、いただいたご寄付により事業が維持でき、現在営業を再開しています。

子どもからお年寄りまでどなたにも安心できる地域の居場所として、期待に応えられるよう微力ながらがんばります。

まちの縁がわ東京一同

理 事 紹 介

今春、「江戸川 ACT 準備会」の集まりに懐かしい顔ぶれが揃いました。「元気になって？」の声と共に、これまでのことや気になっていることなど、様々な話題に花が咲きました。今、オンラインでの交流もひろがり、移動時間がなく便利だとは思っていますが、顔を合わせて



話す楽しさを改めて感じました。ACT には、人と人のつながりを作る役目があると思っています。人の輪が、もっとひろがりますように！

つるしまよしこ
鶴島佳子

ACT 会員 2019 年就任



ACTインフォメーション

ACT コミュニティ活動応援基金助成 公開ヒアリング

8月7日(土)午前、詳細はACTのHPでお知らせいたします。参加ご希望の方は、事前にACT事務局までご連絡ください。

皆様のご協力とご寄付に御礼申し上げます

ACTコミュニティ活動応援基金 34件
133,000円(6月末現在)

★引き続きご寄付のご支援をお願いいたします。

編集後記

巣ごもり中 TV 番組「駅・空港・街角ピアノ」にすっかりハマり、何十年かぶりにピアノに再挑戦中。やっぱり、あ一指も頭も動かない……。でも音楽の素晴らしさと「できない」にパワーをもらい、少しずつでも前進できたら。いつか海外の空港や駅で弾いてみたい。夢はでっかく。

さっちゃん

● 住所、連絡先等変更されたときは、ACT事務局までお知らせください。

特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい

〒164-0012 東京都中野区本町 2-51-10 OKビル4階

☎ 03-5302-0393 FAX 03-5302-0394

E-mail: tokyoact@maple.ocn.ne.jp https://npoact.org/



「Facebook で
「いいね！」してね」

